

菊池溪谷に生息する魚類

菊池溪谷の冷たく澄んだ水は、2 種類の魚にとって生息域となっている。**ヤマメ**は泳ぎが速く、体長 35cm にもなるサクラマスの子孫型である。内気な性格で警戒心が強いとされるが、禁漁区である溪谷の淵をのんびりと滑るように泳ぐ姿が見られる。

ヤマメは溪谷の長い方の遊歩道の先にある広河原で産卵することが知られており、目撃例が多いのもこの場所である。溪谷周辺の飲食店ではヤマメの塩焼きが食べられるが、その魚は近くの養殖場から仕入れている。

ヤマメに比べ、**タカハヤ**はかなり小型で、溪谷ではやや多く見られる。緑がかった金色で腹部が白く、体長は 10 センチほどで、西日本の冷たい川の上流域に生息する。山間部では昔から日常食として食べられてきたが、特に美味しいとは思われていない。ヤマメと同様、広河原周辺が狙い目である。